

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
地理歴史	地理総合	2	2	必	特進コース
科目の目標	地理的な見方や考え方を培い、現代世界の地理的な諸課題を地理的要因や地域性、歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識力を身に付け、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院)	副教材等	標準高等地図 (帝国書院)		

1. 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第1部 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	10	4 5	緯度・経度の仕組みや生活に与える影響を理解することができる。 地図や地理情報システムの仕組みを理解し、技能を身に付けることができる。 日本の位置・領域の特徴や、領土をめぐる問題について理解することができる。 グローバル化に伴い、世界の国々を結びつける要素の変化について理解することができる。	○	○	○
第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 追究事例 自然①・②	12	6 7	地形が人々の生活に与える影響を理解することができる。 気候が人々の生活に与える影響を理解することができる 地域の自然環境が、人々の生活や産業に与える影響を理解することができる。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追究事例 宗教①・②	12	8	言語と宗教が人々の生活に与える影響を理解することができる。	○	○	○
4節 歴史的背景と人々の生活 追究事例 歴史①～③		9	イスラーム・ヒンドゥー教が人々の生活に与える影響や、経済発展による生活の変化を理解することができる。			
5節 世界の産業と人々の生活 追究事例 産業①～③			歴史的背景が人々の生活に与える影響を理解することができる。 ラテンアメリカ・アフリカ・ロシアの歴史的背景を学び、産業や文化について理解することができる。 産業力・経済成長・地域統合が人々の生活に与える影響を理解することができる。			
第2章 地球的課題と国際協力	14	10	地球的課題の背景にある経済格差を学び、その解決に向けた取り組みを理解することができる。	○	○	○
1節 複雑に絡み合う地球的課題		11	地球環境問題の種類や背景を理解し、解決に向けての取り組みを理解することができる。			
2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題			人口分布と人口増加の傾向を学び、発展途上国と先進国の人口問題を理解することができる。			
第3部 第1章 自然環境と防災	10	12	日本の地形や気候の特徴を学び、形成要因や地域差を理解することができる。	○	○	○
1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災		1	地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解することができる。			
3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	12	2	火山の分布、恵み、災害の特徴を学び、共生する自治体の取り組みを理解することができる。	○	○	○
第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望		3	地域で異なる気象災害を学び、台風による水害や大雪による雪害の影響と取り組みを理解することができる。 災害の被害を軽減するための取り組みを学び、被災地における自助・共助・公助を理解することができる。			